

## 校内別室の指導と支援



### 不登校生徒の状況

対象生徒は、入学当初は部活動に参加していたが、活動が苦しくなった事をきっかけに欠席や別室登校が増えた。校内別室では、個別学習や小集団の体験的な活動を通してスモールステップで目標を達成する経験を積み重ねてきた。集団の中で活動することが難しい状態から、学級の友達とも休み時間等にコミュニケーションを取れるようになってきており、宿泊行事にも参加できるまでになった。また、自身の進路選択についても前向きになり、日々の学習に取り組んでいる。

### 具体的な取組



#### ○運動会の参観

運動会には出られないが、見学したいという意欲があったため、校長が写真撮影という役割を与え、校舎3Fベランダから参加することができた。校内別室指導支援員は副校長と場所を考え、本番の様子を見守った。

#### ○校内別室での学習

オンライン授業に参加するためのプリント準備や先生方との連携を行い、授業に遅れることのないように支援している。プリントの提出や英会話の授業のサポートも行っている。

#### ○校内別室の効果

当該生徒は、校内別室のリーダーとなり、部屋の環境づくり、ルールづくり、必要な物を考えるなど、別室登校の仲間たちに親切に接している。支援員はそれを見守り、励ましの声かけをしている。また、複数の校内別室指導支援員が交代で雑談することでコミュニケーション能力を育成することができている。



#### ○校内別室指導支援員の声かけ

区の音楽鑑賞教室や芸術鑑賞教室に参加できるように声かけを行った。また、当該生徒が目標を達成できるように複数の校内別室指導支援員が普段から声かけをしている。

### 成果

校内別室指導支援員が、生徒たちに寄り添うことは、コミュニケーション不足になりがちな生徒たちに、他者との関わりを促すことになり生徒同士のコミュニケーションの増加や次の登校へのきっかけとなっている。

### 課題

生徒の心に寄り添える校内別室指導支援員の人材の確保

